



KKR、APAC インフラストラクチャー1号ファンドをクローズ ファンド規模は 39 億ドル(約 4,060 億円)

【2021年1月12日】世界有数の投資会社である KKR は本日、アジア太平洋地域におけるインフラストラクチャー関連投資に注力する KKR アジア太平洋インフラストラクチャー・インベスターズ SCSp(以下「APAC インフラ・ファンド」または「当ファンド」)を 39 億ドルでクローズしましたので、お知らせいたします。

KKR アジア太平洋地域代表のミン・ルーは次のようにコメントしています。「今回 KKR として初めてとなる APAC 地域のインフラストラクチャー・ファンドのクローズを発表できることを大変光栄に思います。APAC 地域は向こう数年間で世界の GDP の半分以上を占めると見込まれているなど、インフラ投資にとって良好なマクロ条件が揃っているとみています。主要インフラ資産の開発・更新需要は非常に大きいものの、多くの市場ではそれを実現するために必要となる資本規模をみると、公的資本で充当可能な規模を上回っています。このギャップを埋めるためには民間資本が重要な役割を果たしていくとみています。KKR としても今回の新たなファンドを通じて、各国が長期的に必要とするインフラ資産やソリューションへの投資に取り組んでいきたいと考えています。」

KKR では、インフラ投資においては規律ある投資選定プロセスに加えて、APAC 地域の投資専任チームが執行するソーシングからストラクチャリング能力を組み合わせたアプローチを採っています。このアプローチに沿うことで、KKR のファンドはボラティリティが低く、ダウンサイドリスクを回避できる重要度の高いインフラ資産に焦点を当てることとなります。世界の拠点で活動する業界専門家のネットワークや APAC 地域で経験と実績を積んだチーム、そして長年にわたり価値創造を実現してきた歴史を背景に、KKR は魅力的なリスク調整後リターンを達成できると考えています。当ファンドは APAC 地域の新興国および先進国において、廃棄物処理、再生可能エネルギー、電力・公益事業、通信、輸送インフラをなど幅広い分野での投資が可能です。

当ファンドはクローズ時に設定上限額に達し、APAC で調達された地域別インフラ・ファンドとして最大規模となりました。当ファンドの規模は、KKR が長期的にみて同地域で実行可能と考える案件規模とほぼ一致するものです。外部の投資家に加えて、KKR でも自己資金と従業員のコミットメントを合わせて約 3 億ドルの資金を投資しました。

KKR の APAC インフラ統括責任のデイビット・ルポフは次のように述べています。「APAC 地域ではインフラは KKR の優先分野であり、ここに確固たるインフラ投資プラットフォームを構築できていることを誇りに思っています。今回これほどの規模のファンドをクローズできたこと、そして優れた投資家に LP(リミテッドパートナー)になっていただいたことは、当社の APAC 地域における KKR そしてインフラ投資における経験と実績の証左であり、規律ある投資アプローチを通じて魅力的なリスク調整後リターンが提供できることの期待を表しています。過去数十年にわたって蓄積してきた業界経験と現地市場における知見を活用することで、KKR は同地域の先進国および新興国において必要不可欠なインフラ需要に柔軟に対応してまいります。」

当ファンドは高い募集倍率となり上限額でクローズ、公的年金、企業年金、SWF(ソブリン・ウェルスファンド)、保険会社、財団基金、プライベート・バンキング・プラットフォーム、ファミリーオフィス、富裕層個人投資家など世界の多様な投資家から資金を受け入れました。

KKR プライベート・マーケット・プロダクツ・グループ統括のアリサ・アマロサ・ウッドは次のように述べています。「当ファンドが成功裡にクローズできたことは、KKR が投資家に確固たる価値提供ができることの実証であります。今日の不安定な環境の中で安定したリターン実現を求める投資家が、当社 APAC 地域のインフラ戦略と有能なチームに信頼を寄せていただいたことに感謝しています。」

KKR は 2008 年に初めてグローバル・インフラ・チームおよび投資戦略をスタート、今日では世界有数のアクティブなインフラ投資家となっています。今日までに約 40 のインフラ投資案件に 240 億ドル以上を投資、現在は約 45 人の専任チームを擁しています。

KKR のインフラ投資のグローバル責任者であるラジ・アグラワルは次のように話しています。「KKR を他社と差別化する 1 つの要素は、すべての資産クラスにおいて投資先企業のニーズを満たすために柔軟な資本ソリューションを提供できる能力です。KKR 独自の案件ソーシングとストラクチャリング力に加え、優れた運用管理能力をもってして積極的に経営に関与することで、21 世紀の経済エンジンとして世界を牽引するであろう APAC 地域においてあらゆる投資機会を捉えていくことを可能にします。」

アジアにおいて、KKR は 2019 年に策定した APAC インフラ戦略において案件数 6 件、合計 18 億ドルをコミットしています。KKR の APAC 地域のインフラ投資ポートフォリオには、インド有数のインフラ投資信託のイングリッド・トラスト、インド再生エネルギー企業のヴィレセント・インフラストラクチャー、韓国の大手環境サービスプロバイダーのエコ・ソリューションズ・グループや TSK コーポレーション、フィリピン最大級の独立系電力会社ファースト・ジェン、フィリピンで独立通信塔プラットフォーム構築を目指す通信会社のピナクル・タワーズなどが含まれています。

以上

KKR について

KKR は、プライベート・エクイティ、エネルギー、インフラ、不動産、クレジット、ヘッジファンドなど複数のアセット・クラスを手掛ける世界有数の資産運用会社です。長期的かつ規律ある投資アプローチで、世界トップクラスの人材を投じてポートフォリオ企業の成長と価値創出を主導、ファンド投資家に対して魅力的な投資リターンを創出することを目指しています。KKR はファンド投資家からの資金に加えて自己勘定資金の投資も行うと共に、キャピタル・マーケット事業を通じて資金調達ソリューションや投資機会も提供しています。KKR の投資に関する記述には、KKR がスポンサーとなっているファンドによる活動が含まれる場合があります。KKR (NY 証取: KKR) については www.kkr.com および [Twitter@KKR_Co](https://twitter.com/KKR_Co) をご参照ください。

メディアお問い合わせ先

フィンズベリー

服部 070-7484-7703 minako.hattori@finsbury.com 岡本 080-9898-5591 ayako.okamoto@finsbury.com